



ワイヤレスセキュリティシステム ワイヤレスセキュリティシステムⅡ ワイヤレスセキュリティシステムⅢ

WTM-100
WTM-100Ⅱ
WTM-100Ⅲ

送信器 取扱説明書

このたびは本製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。
ご使用になる前に必ず本取扱説明書をお読みください。
この取扱説明書は、保守・管理のために、システムの管理をされる方が、大切に保管してください。

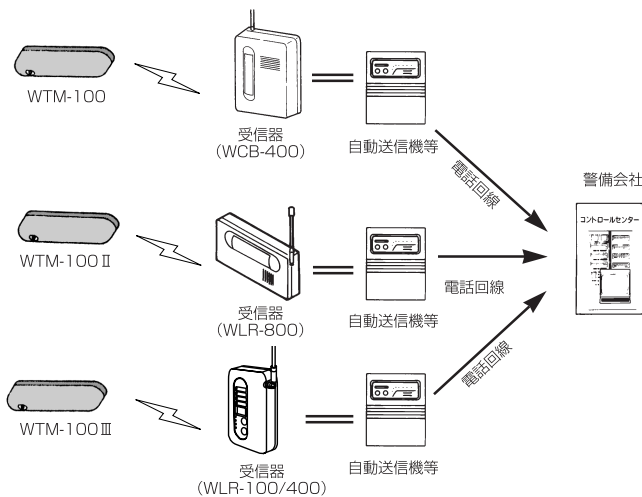
送信器 WTM-100、WTM-100Ⅱ、WTM-100Ⅲは、それぞれワイヤレスセキュリティシステム／ワイヤレスセキュリティシステムⅡ／ワイヤレスセキュリティシステムⅢの受信器と組み合わせて使用し、送信器と接続された各種センサや非常押しボタン等の信号を、小電力セキュリティ電波を使用して、電話回線などに自動送信機等を介して、緊急通報を行うための装置です。
その他の用途での使用はしないでください。

はじめに

1. 特長

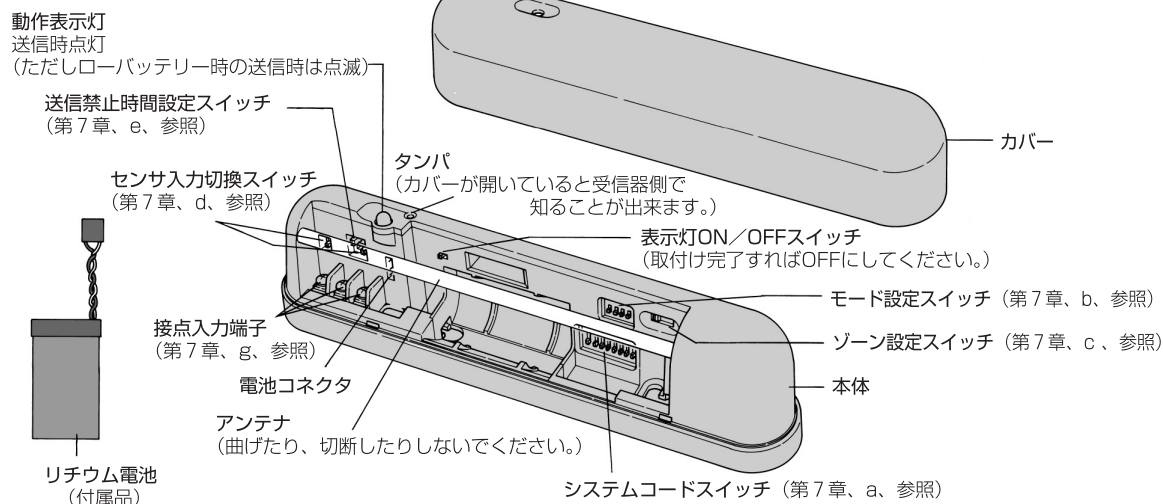
- 小電力セキュリティシステムの無線設備
この製品は、小電力セキュリティシステムの無線設備としての技術基準適合認定を受けております。技術基準適合認定品等の自動通報機、送信機等に接続することで、電話回線等を利用して、外部へ連絡することが出来ます。
- 工事の簡略化
侵入検知センサ等の信号を入力して無線で送信します。センサから受信器までの長距離の配線をワイヤレス化することが出来ますので、工事が簡単です。
- 送信器の判別機能
モード・ゾーン設定スイッチを、設定していただくことにより、受信器の表示灯でどの送信器が送信したのかを知ることができます。
- 送信器と受信器との間を常時監視（スーパーバイズド機能）
一定時間ごとに送信器から受信器に異常のないことを信号により送信します。万が一、電波状況が悪くなり電波が届かない場合や送信器が破壊、盗難される等の異常がおきた場合、受信器の表示で知ることができます。
- 標準電波到達距離 100m（但し周囲の状況により距離が短くなる場合があります。）
市販の特定小電力トランシーバー・コードレス電話とほぼ同等の電波到達距離が得られます。

2. 電気通信回線設備への接続



この無線装置は電気通信回線に接続して使用するものです。ただし受信器は自動送信機等（技術基準適合認定品に限りません。）を介して電気通信回線設備に接続して使用する為、利用する回線の種類は特定していません。受信器の自動送信機等（認定品）への接続は、受信器の無電圧接点出力端子（受信器の取扱説明書をご覧ください。）を自動送信機等（認定品）のセンサ入力端子等へ接続してご使用ください。

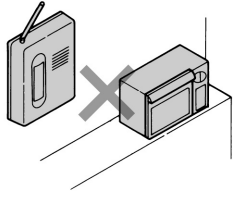
3. 各部の名称



4. 正しくご使用いただくために

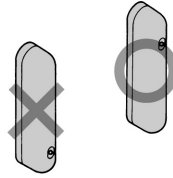
ワイヤレスセキュリティシステム/ワイヤレスセキュリティシステムⅡ/ワイヤレスセキュリティシステムⅢをご使用になる際は、下記の項目にご注意ください。

1. 他の電機製品



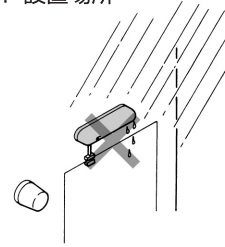
次の製品からは、1m以上離して使用してください。
TV・ラジオ・パソコン・電子レンジ・冷蔵庫・モータを使用した機器（センサの誤報・失報の原因になります。）

2. 取り付け方向



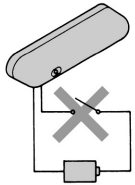
WTM-100を縦向きに取付けるときは、本体に示されている矢印が上を向く様（表示灯が上）に取付けてください。（逆さに取付けると電池寿命が短くなります。）

3. 設置場所



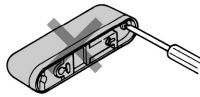
WTM-100を水の侵入の恐れのある所（屋外の露出設置、天井裏にエアコン等のダクトのある天井面等）へは設置しないでください。（故障の原因になります。）

4. 信号入力



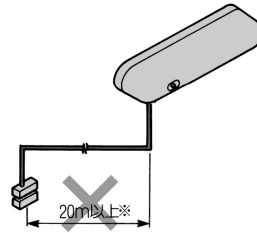
信号の入力は必ず無電圧接点で入力してください。（有電圧接点で入力しますと故障の原因になります。）

5. 分解、改造



分解・改造は法律で禁止されています。又、機器の故障の原因にもなりますので絶対に行わないでください。

6. 配線長さ



センサからの信号入力の記憶は20m※までの長さで御使用ください。（誤報の原因になります。）
※E X-Bシリーズを使用する際は10mまでの長さ

7. 次の条件で使用しますと、電波の到達距離が100mより短くなることがあります。

- 送信器と受信器の間にスチールドア、鉄筋コンクリートなど金属製の障害物がある場合。
- 送信器もしくは受信器の取り付け面が金属製の場合。
- 放送局などの強い電波を出しているところの近く。
- 高圧線などの電氣的ノイズが多い所の近く。
- 受信器のアンテナがいっぱいまでのびていない場合。

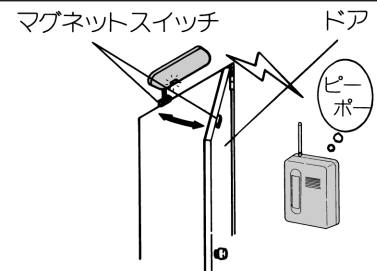
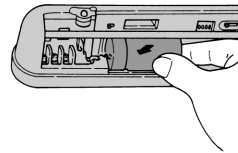
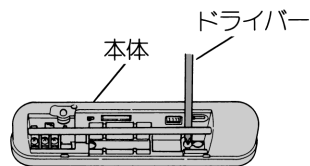
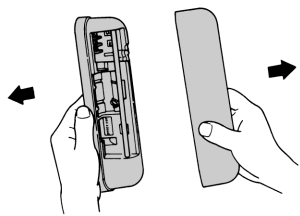
8. 機器本体を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

9. 期待本体が汚れた場合は、中性洗剤を含んだ柔らかい布でふき取ってください。（シンナー、ベンジンなどの化学薬品は表面を傷めることがあります。）

10. 受信器にありますバッテリー表示灯が点滅し始めますと間もなく電池が無くなります。速やかにご購入頂きました警備会社、工事店等にご連絡ください。

11. カバーは必ず嵌めて御使用ください。（カバーを嵌めないと送信しない場合があります。）

5. お取り付け方法



①カバーを外し、スイッチ類の設定とセンサ（無電圧接点）の接続（第7章参照）行ってください。スイッチ類の設定の際には、⊖ドライバー等の先端の細い物で行うと便利です。

②壁面等へ取付けてください。この時、水の侵入の恐れのある所（屋外での露出設置、天井裏にエアコン等のダクトのある天井面等）へは設置しないでください。

③電池を接続してください。電池のコネクタには方向性がありますので、ご注意ください。

④カバーを取付けてから、センサを動作させ、電波が送信されている（表示灯の点灯、受信器の動作）ことを確認してください。この時ローバッテリー表示が出たときは、第6章の※印をご参照ください。

6. 電池の交換

システムを使用されている際、以下の様な場合（ローバッテリー表示）は、電池の交換を行ってください。

①送信器の表示灯ON/OFFスイッチをONにし発報させると通常点灯する表示灯が点滅する。

受信器がWCB-400の場合、警告音の音程が変（1オクターブ下がる）になる。

※リチウム電池を新品に交換してもローバッテリー表示が出ることがあります。この場合は電池を活性化させる為に10回以上発報させて下さい。通常の状態にもどります。

当商品で使用しておりますリチウム電池は、一般に市販されているものではございません。

従って、リチウム電池が消耗した場合はご購入頂きました警備会社又は工事店等にお問い合わせください。

（注）指定の電池以外は使用しないでください。

指定電池：3.6Vリチウム電池 TL-5920-B

7. スイッチの設定&センサの接続

スイッチ・端子の説明

a. システムコードスイッチ



システムのコードを設定するスイッチです。同じコードのシステムが近所にある場合、混信することがありますので、その場合はコードの変更を行ってください。

b. モード設定スイッチ



WTM-100の場合

送信器の使用できるモードを設定します。
 "A.防犯来客報知"・"B.在宅警戒"・"C.外出警戒"は同時に複数の設定が出来ます。
 "D.非常・火災通報"をONにするとシステムモードに関係なく、受信器が受信すると、警報が出ます。



c. ゾーン設定スイッチ

WTM-100Ⅱ、WTM-100Ⅲの場合

ゾーン設定スイッチとの組み合わせで使用します。使用できるモードは"B.在宅"・"C.外出"です。
 "A.来客"・"D.非常・火災"は使用できません。

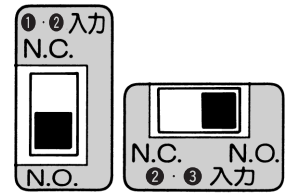
モード設定スイッチとの組み合わせで使用します。

モード設定スイッチとゾーン設定スイッチの組み合わせにより受信できるループ番号が決まります。組み合わせは下記のとおりです。

		モード設定スイッチ			
		B (在宅警戒) モード	C (外出警戒) モード		
ゾーン設定スイッチ	ゾーン1	ループ1	ループ5		
	ゾーン2	ループ2	ループ6		
	ゾーン3	ループ3	ループ7		
	ゾーン4	ループ4	ループ8		

受信器がWLR-400のときは、ループ5〜8の設定は、使用しないでください。

d. センサ入力切換スイッチ



①、②入力端子と②、③入力端子のセンサの入力形態を設定します。使用しない入力端子は必ず、"N.O."の側に設定してください。

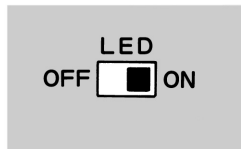
e. 送信禁止時間設定スイッチ



②、③入力端子に接続されたセンサによって送信される電波の送信禁止時間を設定します。

※①、②入力端子側の(警報)電波の送信禁止時間は8秒(MIN.)で固定です。(第7章、g.入力端子部参照)

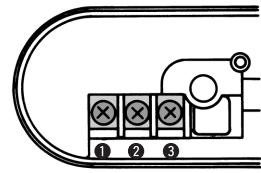
f. 表示灯(LED)ON/OFFスイッチ



動作表示灯のON/OFFスイッチです。取付けが完了したらOFFにしてください。(電池寿命を少しでも長くすることが出来ます。)

g. 入力端子部

WTM-100への信号入力は、必ず無電圧接点で入力してください。各種スイッチを接続する際は、以下を参考にして、接続してください。

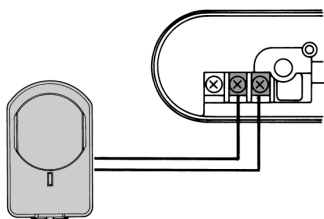


端子No.	入力センサ	警報信号送信形態
①	マグネットスイッチ 赤外線(AIR)センサ タンパススイッチ etc.	(警報)送信禁止時間: 8秒, 5秒以上, 3秒 (電波(警報))
		(センサ信号)
②	熱線(PIR)センサ 非常押ボタン 火災センサ etc.	(警報)送信禁止時間: 3秒, 3秒, 3秒 (電波(警報))
		(センサ信号)

スイッチの設定・センサの接続例

①、②入力端子と、②、③、入力端子をそれぞれ同時に使用する場合、電池寿命が短くなることがありますので、ご注意ください。

①熱線 (PIR) センサetc.



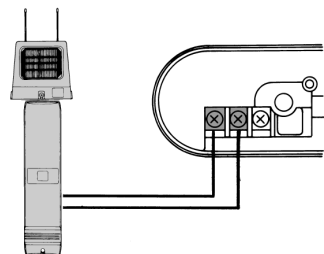
○センサはバッテリーで駆動出来るEX-Bシリーズをおすすめします。
 ○センサの信号を②、③入力端子へ接続し、②、③センサ入力切換スイッチをセンサの信号形態にあわせて設定してください。

EX-Bシリーズを接続する場合は、端子への接続方法が、通常の熱線センサと異なりますので、EX-Bシリーズの取説を御参照ください。

○人通りの多い場所へ設置するときには、送信禁止時間を2分に設定してください。

警戒解除時に防犯来客報知センサとして使用する場合には送信禁止時間を3秒に設定して下さい。ただし、電池寿命は短くなることがあります。

②マグネットスイッチ・赤外線 (AIR) センサ・タンパススイッチetc.



○赤外線センサはソーラバッテリーで駆動出来るAX-SOLシリーズをおすすめします。

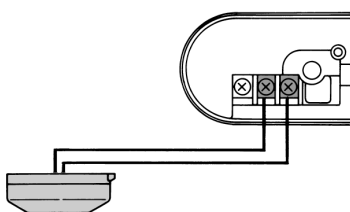
○受信器は必ずスーパーバイズド機能を使用してください。

(スーパーバイズド機能を使用しないと、ループ異常表示を行いません。)
 ○センサの信号を①、②入力端子へ接続し、①、②センサ入力切換スイッチをセンサの出力形態にあわせて設定してください。

センサを②、③入力端子へ接続すると、以下の様な問題が起こりますので、②、③入力端子への接続はしないでください。

例. 窓の開放(マグネット)、車の駐車(赤外線)、センサ異常(タンパ) etc.のループ異常時でもシステムが警戒モードにはいってしまう(ただし送信禁止時間後に発報する。)

③非常押ボタン・火災センサetc.



○非常押ボタンは接点保持型のスイッチをおすすめします。

○火災センサは電源不要、接点保持型のスイッチをおすすめします。

○スイッチの信号を②、③入力端子へ接続し、送信禁止時間を3秒に設定してください。

○モード設定スイッチで、非常・火災をONにする。

上記の設定で押ボタン・火災センサが動作した時は、受信器は連続して警戒動作を行います。この場合受信器の解除スイッチを押しても、一時的に動作停止しますが、すぐに警戒動作を再開します。警戒を解除するときは、押ボタン・火災センサの保持されている接点をもどして、受信器の解除スイッチを押してください。

8. 異常時の点検について

まったく動作しない。
送信器の表示灯が点灯しない。

- 電池は正しく接続されていますか。 → 電池コネクターを正しく接続してください。
- 表示ON/OFFスイッチがOFFになっていませんか。 → OFFになっていた場合、動作はしていますが送信器のみでは動作の確認はできません。
- 電池が消耗していませんか。(受信器のバッテリー表示灯が点滅していませんか。) → ご購入いただきました警備会社、又は工事店にお問い合わせください。
- 接続しているセンサは正常に動作していますか。 → センサの取扱い説明書等に従ってセンサの確認をしてください。
- 入力切換スイッチは、センサの信号形態 (N.C./N.O.) と同じ設定にしていますか。 → 入力切換スイッチをセンサの信号形態 (N.C./N.O.) と同じ設定にしてください。
- カバーを外していませんか。 → 必ずカバーを嵌めて御使用ください。
- 上記のどれにも該当しない場合。 → 電池のコネクターを一度抜いて、再度、接続してください。
- 送信器の表示灯は点灯するが、受信器が動作しない。 → システムコードは受信器と同じ設定になっていますか。 → 1～7番目までを同じ設定にし8番目はONに設定してください。
- 電波は届いていますか。 → 電波が十分に届いていることを確認(受信器の受信感度表示灯)して御使用ください。

ときどき動作しない。

- 送信禁止時間の設定が2分に設定してありませんか。 → 一度動作してから約2分後に動作していれば、正常です。
- 送信器の表示灯が点灯しない、もしくは点滅していませんか。 → 電池の交換が必要です。
- 電波は安定して届いていますか。 → ご購入いただきました警備会社、又は工事店にお問い合わせください。
- 接続しているセンサは正常に動作していますか。 → センサの取扱い説明書等に従ってセンサの確認をしてください。

誤動作をする。

- ご近所でワイヤレスセキュリティシステムを使われていませんか。(ご近所の方の信号を受信器が受けている可能性があります。) → 電波が十分に届いていることを確認(受信器の受信感度表示灯)して御使用ください。システムコードの設定変更を行ってください。
- 接続しているセンサは正常に動作していますか。 → センサの取扱い説明書等に従ってセンサの確認をしてください。
- センサと送信器の間の信号線の長さは、何mですか。 → EX-Bシリーズは10mまで、その他のセンサは20mまで、の長さで御使用ください。
- 入力切換スイッチはセンサの信号形態 (N.C./N.O.) と同じ設定にしていますか。 → 入力切換スイッチをセンサの信号形態 (N.C./N.O.) と同じ設定にしてください。

外部への連絡を行わない。

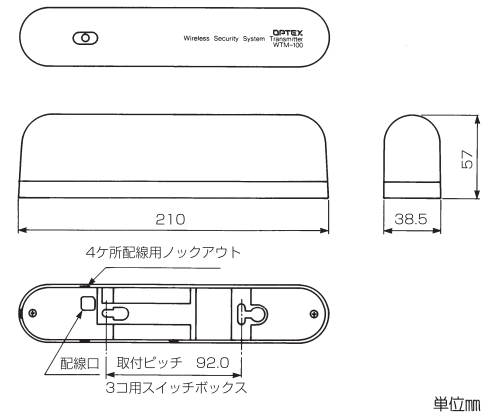
- 自動通報装置は動作していますか。 → 受信器と自動通報装置の接続が正しく行えているか確認してください。

以上の点検を行っても原因のわからないときには、お買いあげ店もしくは弊社へご相談下さい。

9. 仕様

	小電力セキュリティシステムの無線設備		
	送信器	受信器	動作表示灯
	ワイヤレスセキュリティシステム WTM-100	ワイヤレスセキュリティシステムⅡ WTM-100Ⅱ	ワイヤレスセキュリティシステムⅢ WTM-100Ⅲ
受信器	WCB-400 (別売)	WLR-800 (別売)	WLR-100/400 (別売)
動作表示灯	検知時点灯 (スイッチにより消灯可能)		
送信出力	10mW +20% -50%		
送信時間	2.5秒以下		
使用周波数	426MHz帯		
電波形式	F2D		
標準電波到達距離	100m (但し周囲の状況により距離が短くなることがあります。)		
入力信号	無線電圧接点信号		
入力形態	N.C./N.O. (スイッチにより切換)		
端子数	3端子 (①: オルタネイト信号入力端子、②: COM端子、③: ワンショット信号入力端子)		
送信禁止時間設定スイッチ	2段設定切換 (3秒・2分) ※設定機能があるのは、②、③ (ワンショット信号) 入力端子を使用時のみ、①、② (オルタネイト信号) 入力端子は切換不可 (8秒固定)。		
モード設定数	4モード		
	A.来客	B.在宅	C.外出
受信ゾーン設定数	4ゾーン		
受信ループ設定数	1ゾーン		
システムコード切換 (混信防止)	8ループ		
	4ループ/1ループ		
電源	リチウム電池: DC3.6V (付属)		
電池寿命	約8年 (1日100回送信)		
使用温度範囲	-10℃~+50℃		
使用場所	屋内		
重量	約235g		
付属品	取り付けビス ヨビ 4 x L20 2本、リチウム電池 3.6V 1個		

<外形寸法>



単位mm

※使用は改良のため、予告なく変更することがあります。
(お断り) この商品は侵入者を検知し、警報を発するもので盗難防止器ではありません。万が一発生した盗難事故による損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

保証書 WTM-100/WTM-100Ⅱ/WTM100Ⅲ

保証期間 ※お買い上げ年月日	より 1年間	販売店名 ※
お客様 ご住所 (〒) (TEL)		<お願い> ○※印の欄はお買い上げ時に必ず記入を受けて下さい。記入無き場合、本書は無効となります。 ○本書は大切に保存してください。再発行はいたしません。
お名前		

<保証規定>

- I. 保証の範囲
1. 取り扱い説明書に記載された正常な使用状態で、保証期間中に万一反障を起こした場合、無償にて修理いたします。お買い上げ店もしくは弊社へ本書を添えてお申し付けください。
 2. この保証は前面に記載された製品について、日本国内に限り適用いたします。
- II. 保証の条件
1. 次に該当する故障は、保証期間 (お買い上げ日より1年間) であっても実費にて修理を申し受けることがあります。
 2. 誤った取り扱い、不当な修理・改造を受けた製品の故障、また故意・不注意による損傷に起因する故障。
 3. 災害など不可抗力による損傷。
 4. 本書前面に必要事項の記入が無い場合、また本書の提示がない場合。
- オプテックス株式会社**
本社: 〒520-0101 滋賀県大津市雄等5丁目8番12号
TEL (077) 579-8630 FAX (077) 579-8170
東京営業所: 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-14-1 新宿グリーンタワービル19F
TEL (03) 3344-5775 FAX (03) 3344-5734